

## 第2章 施策・事業の運営状況

京都府では、知事部局・教育委員会・警察本部の部長等が、担当する職務に関し、特にその年度に重点的に取り組む目標を設定し、挑戦する運営目標のしくみをつくっている。

本章では、2011年度の運営目標の達成状況等をもとに、「明日の京都」の実現に向けた施策・事業の運営状況について点検を行い、今後の課題を明らかにする。

### 1 2011年度運営目標の達成状況と問題点

2011年度は、17部局（知事部局、教育委員会、警察本部）で計424項目の運営目標を設定し、そのうち目標を達成したものは388項目（92%）、未達成に終わったものは36項目（8%）であった。

以下には、「明日の京都」の3つの基本方向に沿って、達成・未達成の事例と未達成の原因を示す。

#### 【府民安心の再構築】

##### ○達成事例

- ・ パーキングパーミット制度の導入  
    <目標> 500施設 → <実績> 759施設
- ・ 犯罪の未然防止・検挙活動の強化（刑法犯認知件数対前年比）  
    <目標> -7% → <実績> -10.5%

##### ○未達成事例

- ・ 社会福祉施設等事業所内保育所増設数  
    <目標> 2か所（累計6か所） → <実績> 0か所（累計4か所）  
    <原因> 安定的な運営が難しいとして、設置に踏み切れない法人が多い
- ・ 高齢者運転免許証自主返納者数  
    <目標> 1,000人 → <実績> 663人  
    <原因> 新たな取組は3町村のみに止まり、17市町では未実施

## 【地域共生の実現】

### ○達成事例

- ・地域力再生アドバイザー登録数・派遣数

＜目標＞ 新規13名（累計70名） →＜実績＞ 新規15名（累計72名）  
派遣数40件 → 派遣数402件

### ○未達成事例

- ・過疎高齢化集落とNPOなどが地域再生活動に取り組む地域連携組織の新規設立数

＜目標＞ 10組織 → ＜実績＞ 6組織

＜原因＞ 地域を担うリーダーの確保難や地域住民の理解と合意に時間が必要

## 【京都力の発揮】

### ○達成事例

- ・京都ならではの国民文化祭の成功（観客数）

＜目標＞ 400万人 → ＜実績＞ 434万人

### ○未達成事例

- ・京のブランド産品販売額（農林水産物）

＜目標＞ 18億円 → ＜実績＞ 12億円

＜原因＞ 気象要因等による出荷額の減少及び新たな品目の認証遅れ

未達成に終わった項目の多くに共通する問題として、施策・事業を推進中に目標の達成が難しいことが判明した際に、リアルタイムでその原因を見極め、目標達成に向けて直ちに行動できていないことがある。

今後は、施策・事業推進中であっても、常に目標達成の可否を見通し、達成のために必要な対応を迅速に講じていくことが求められる。

## 2 運営目標に係る今後の留意事項

2011年度の施策・事業運営の問題点を踏まえた上で、2012年度の運営目標の設定に際して特に留意した点と主な事例を以下に示す。こうした点については、今後の施策・事業の運営に当たり、常に留意していくことが求められる。

### ○状況変化に迅速に対応する目標を設定すること

- ・ 府民の生命をしっかりと守る安心安全の取組
  - ①学路の安全対策をはじめとする交通事故対策
  - ②原子力に対する安全への取組
- ・ エネルギー問題・節電への対応

### ○京都指標を活用するとともに、積極的にアウトカムの目標を設定すること

- ・ 単にアウトプット（「何を実施したか」や事業量など）の達成だけで評価するのではなく、アウトカム（「課題が解決したか」や「どれだけ成果が得られたか」など）で評価できるよう目標を設定
  - 京力中小企業100億円事業で支援した企業の売上・雇用の増加割合 ほか

### ○本質的な課題を明らかにし、「挑戦的な」目標を設定すること

- ・ 創エネ（グリーンイノベーション事業）、省エネ（次世代省エネ対策）、電力エネルギー供給増強事業の3本柱で京都エコ・エネルギー戦略を推進
- ・ 力強い農業構造への転換を図るため、地域の中心となる経営体への農地集積や経営の多角化など「京力農場づくり」を重点的に推進 ほか

